

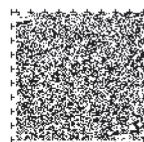
〔概要版〕

第2次 亀山市総合計画

グリーンプラン2025



亀 KAME YAMA 山



総合計画とは・・・

■ 総合計画策定の趣旨

従来、地方自治体には、地方自治法によって総合計画（基本構想）の策定が義務付けられていましたが、平成23年の法改正により、その策定義務が廃止されました。

こうした中、亀山市では、今後の市政推進のためには総合計画が重要であると考え、平成27年6月に亀山市総合計画条例を制定し、市の主体的な意思による総合計画の策定根拠を明らかにしました。今回策定する第2次亀山市総合計画は、同条例に基づいて策定する最初の総合計画となります。

本計画は亀山市の最上位計画となるもので、長期的な将来展望の下に、市政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針とします。

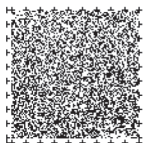
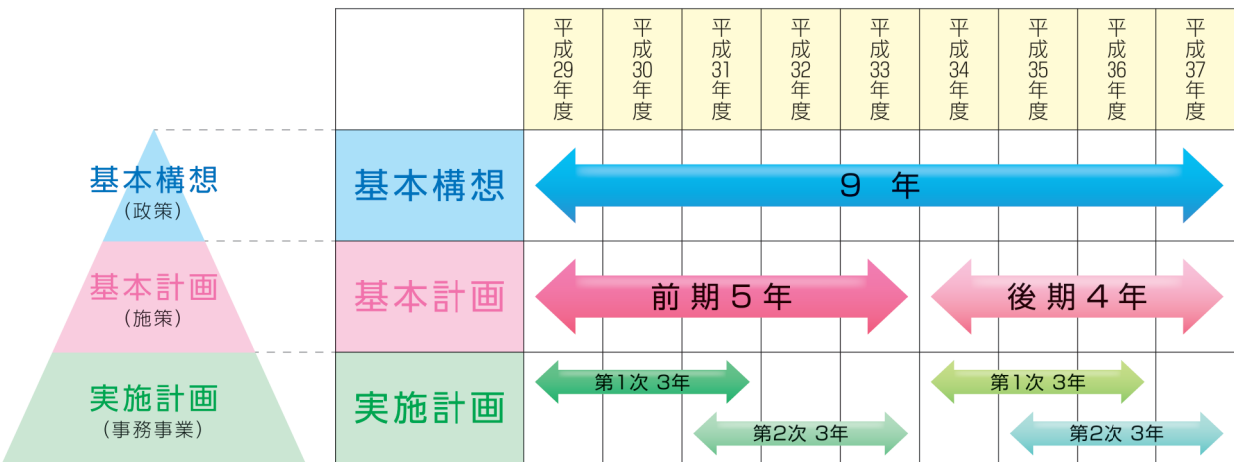


■ 総合計画の構成と期間

第2次亀山市総合計画は亀山市総合計画条例第2条の規定に基づき、基本構想・基本計画・実施計画の3層により構成します。

また、計画期間は、平成29年度から平成37年度の9年間とします。

構 成	概 要
基本構想	市の将来像及びこれを達成するための政策の大綱を示したもの
基本計画	基本構想に基づいて市域の総合的かつ一体的な整備に必要な方策及び手段を示したもの
実施計画	基本計画の具体的な実施に関して策定する計画

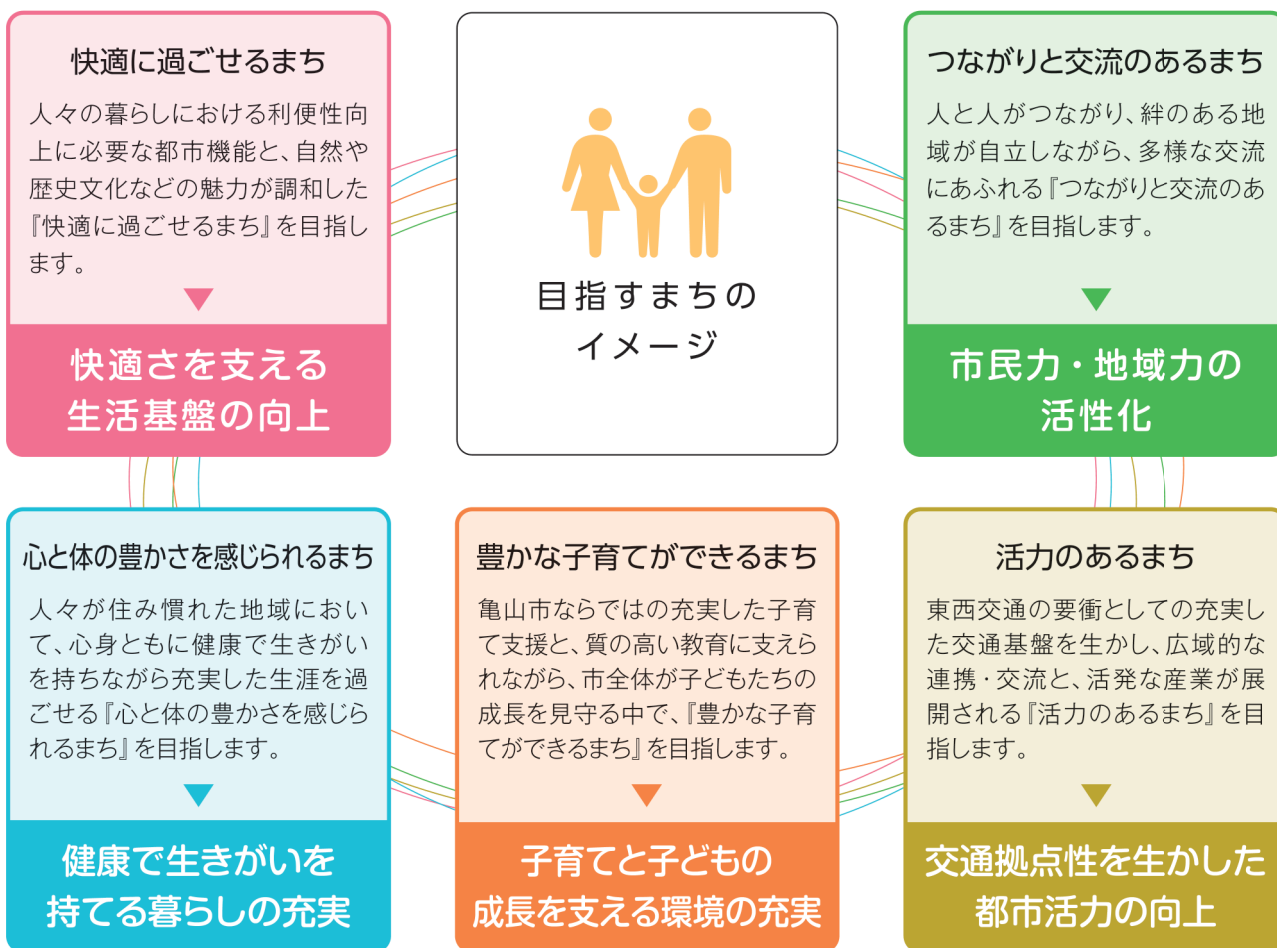


目指すまちの姿

■ 将来都市像

歴史・ひと・自然が心地よい **緑の健都 かめやま**

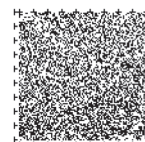
地域に根ざした自然・歴史・産業が調和した「まち」、心身ともに健やかな日々を過ごせる「ひと」の暮らす亀山市。こうした亀山市の心地よさを「まち」も「ひと」も健康な状態であると捉え、それをさらに高め、次代へつなげるため、持続的に発展し続けられる「健康都市」でありたいという想いを、将来都市像『歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま』として示しています。



■ まちづくりの基本方針

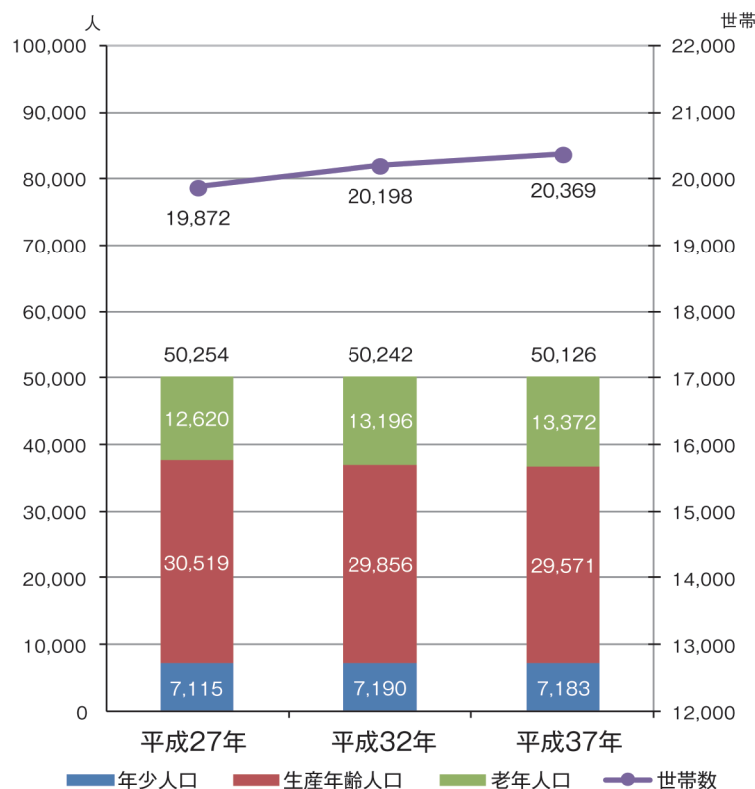
市民力・地域力が輝くまちづくり

将来都市像の具現化を図るためには、市民・団体・地域・事業者など亀山市に関わるすべての主体がそれぞれの持つ力を合わせ、連携・協働してまちづくりを進めることが重要です。こうしたことから、市民と地域の持つ力を生かし、輝かせるまちづくりとして、『市民力・地域力が輝くまちづくり』を、今後のまちづくりの基本方針として位置づけます。



将来推計人口

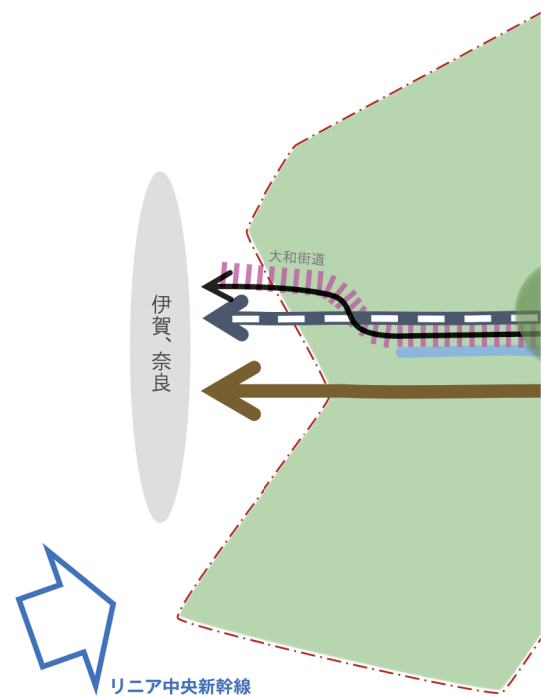
少子化対策を進めるとともに、転入者が転出者を上回る社会増の傾向を加速させることで、総人口の維持とともに、世代間・男女間のバランスの改善を図ることのできる住みよいまちづくりを目指します。



■ 都市空間形成方針

将来都市像の具現化に向けて亀山市の都市空間を形成していくためには、亀山市の持つ特徴ある地形や現状の都市空間の利用状況を踏まえつつ、生活圏の広域化や発生が予想される災害に対応し、「住み続けられる」「選ばれる」ために必要な都市機能が集積・連携した都市づくりを進めることが必要です。

こうしたことを踏まえ、亀山市の都市空間形成の基本方針として、次の4つの方針を掲げます。

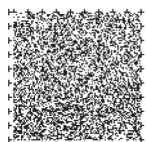


1 住みやすさの向上に重点を置いた土地利用の推進

3 災害に対する防災力と災害発生時の都市機能の維持・確保

2 地形や自然環境、交通網の充実など市の魅力の発揮

4 充実した交通網を活かした近隣市との広域連携の強化

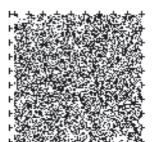


都市空間形成方針



都市基盤		豊かな緑
		河川沿いの農地
		河川
		鉄道
		高速道路(JCT、IC)
		国道
居住		拠点型居住地
		地域型居住地

ネットワーク		拠点機能の活用
		拠点間の機能補完
		街道軸
都市拠点		中心的都市拠点
		副次的都市拠点
		産業拠点
		医療・福祉拠点



戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、基本構想における将来都市像「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」の具現化に向けて取り組む前期基本計画の推進力を高めるため、人口減少社会に対応し、持続的に成長することができるよう、政策や施策の枠組みにとらわれない戦略的な視点に基づき、重点的に取り組むものとして位置づけます。

前期基本計画においては、戦略的視点に基づいた5つの戦略プロジェクトを設定し、関係する政策や施策を連動させ、一体性を持って取り組むことで、持続性を保ち続けるとともに、都市の成長力を強化することを目指します。

将来都市像

歴史・ひと・自然が心地よい
緑の健都 かめやま

戦略的視点



1 『健都さぷり』 プロジェクト

◆ 戦略的視点

市民の健康的な暮らしを支える都市全体の『健康』の視点

◆ プロジェクトのねらい

「健康都市」として市民の健康を支える都市環境を整え、市民が自分自身で、地域で行う主体的な健康活動を促すとともに、市民のライフステージに応じた健康づくり支援を行うことで、市民の健康寿命を伸ばし、健康的で豊かな暮らしの実現を目指します。

◆ プロジェクトの取り組み

- ・まち・ひと健康環境の充実
- ・住み慣れた地域で自分らしく健康に暮らし続けられる環境づくり



2 『安全カジャンプアップ』 プロジェクト

◆ 戦略的視点

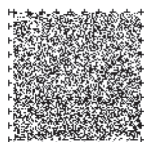
高まる災害リスクに備える『安全』の視点

◆ プロジェクトのねらい

南海トラフに起因する大規模な地震災害の発生や、近年、大型化する風水害など、本市における災害へのリスクに備え、自助・共助・公助により、市全体での防災力・減災力の向上を目指します。

◆ プロジェクトの取り組み

- ・市民・地域のつながりを生かす自助・共助の強化
- ・公助の推進



3 『JR 亀山駅周辺拠点力向上』 プロジェクト

◆ 戦略的視点

快適かつ魅力的な都市拠点をつくる『拠点』の視点

◆ プロジェクトのねらい

本市の中心的拠点であるJR亀山駅周辺のにぎわいと都市機能を高めることで、中心的都市拠点の求心力の向上を目指します。

◆ プロジェクトの取り組み

- ・ 中心的都市拠点の求心力向上と拠点近接居住空間の形成
- ・ 都市拠点の機能を暮らしに生かすネットワークの強化



4 『ジモトノココロ』 プロジェクト

◆ 戦略的視点

市民の愛着と誇りの源泉である自然と歴史を受け継ぐ『ふるさと』の視点

◆ プロジェクトのねらい

5万人の人々が暮らす亀山市には、豊かな自然と歴史文化という「ふるさと亀山」の源があります。この「ふるさと亀山」の源である自然と歴史文化を守り、継承することで、市民一人ひとりが愛着と誇りの醸成を目指します。

◆ プロジェクトの取り組み

- ・ 源流を守る水と緑のつながる自然の保全・活用
- ・ 歴史的風致の維持向上
- ・ ふるさと亀山を愛し、誇れるシビックプライドの醸成



5 『そして、親となるまち』 プロジェクト

◆ 戦略的視点

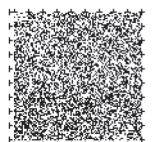
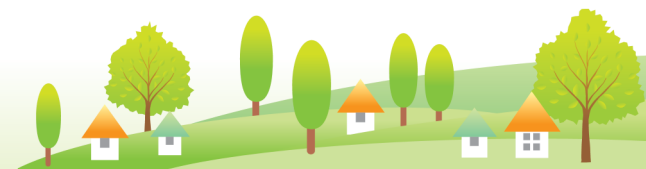
この地で子どもを育てながら住むまちとして選ばれる『定住』の視点

◆ プロジェクトのねらい

亀山市が将来にわたって持続的に発展していくためには、若い世代が子育てしながら安心して住み続けられるまちであることが必要です。その実現に向けて、恵まれた子育て環境のさらなる充実とその魅力の発信を強化することで、子育て世代のさらなる定住を促進します。

◆ プロジェクトの取り組み

- ・ 親と子の成長を支える「子育てにやさしいまち」の充実
- ・ 子育て世帯の定住促進



施策の大綱 (まちづくり編)

まちづくり編、行政経営編を合わせて、**30**の「基本施策」、**110**の「施策の方向」、**329**の「個別施策」を位置づけます。



1. 快適さを支える生活基盤の向上

人々の暮らしにおける利便性向上に必要な都市機能と、自然や歴史文化などの魅力が調和した『快適に過ごせるまち』を目指します。

基本施策

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 都市づくりの推進 | 6 安全・安心なまちづくりの推進 |
| 2 住環境の向上 | 7 低炭素・循環型社会の構築 |
| 3 上下水道の充実 | 8 自然との共生 |
| 4 道路の保全・整備 | 9 歴史的風致を生かしたまちづくりの推進 |
| 5 公共交通網の充実 | 10 歴史文化の継承・活用 |

主な基本施策が目指す姿

- ・市民が、魅力的な都市空間のもと、都市機能を効率的・効果的に利活用し、安全で快適に暮らしています。
- ・市民が、良好な水環境の中、おいしい水を利用しています。
- ・市民が、保全・整備された道路を利用して、安全で快適に生活を送っています。
- ・市民が、安全・安心に暮らせるまちで過ごしています。
- ・市民、事業者、行政が一体となり、歴史的な風致を生かしたまちづくりを進めています。

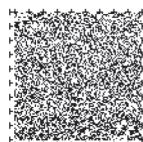
主な施策の方向

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ・計画的な都市づくりの推進 | ・自助・共助を基本とした防災対策の推進 |
| ・活力ある市街地の形成 | ・環境負荷の少ない社会の形成 |
| ・安全でおいしい水の安定供給 | ・自然資源の保全 |
| ・幹線道路の整備 | ・東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上 |
| ・地域公共交通を活用した交通ネットワークの強化 | |

主な成果指標と目標値



	〈現状値〉	〈目標値〉
・市街地再開発事業等が行われた件数	—	2件
・都市計画道路の整備率	58.1%	70.0%
・自主防災組織結成率	83.8%	100%
・伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率	56.0%	60.0%





2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実

人々が住み慣れた地域において、心身ともに健康で生きがいを持ちながら充実した生涯を過ごす『心と体の豊かさを感じられるまち』を目指します。

基本施策

- 1 地域福祉力の向上
- 2 健康づくり・地域医療の充実
- 3 高齢者の地域生活支援の充実
- 4 障がい者の自立と社会参加の促進
- 5 学びによる生きがいの創出
- 6 文化芸術の振興と文化交流の促進
- 7 スポーツの推進

主な基本施策が目指す姿

- ・市民一人ひとりが、地域において、生き生きと健康に暮らしています。
- ・高齢者が、必要な介護・福祉サービスを受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- ・障がいのある人が、自立に向けた支援やサービスを受けながら、住み慣れた地域で自立して暮らしています。
- ・市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。
- ・市民が、スポーツに関心を持ち、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るためスポーツを楽しんでいます。

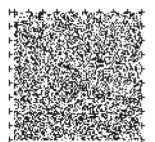
主な施策の方向

- ・地域福祉を支える人と組織の育成
- ・地域での助け合い・支え合いのしくみづくり
- ・健康な暮らしの支援
- ・疾病予防と早期発見・治療の推進
- ・地域包括ケアの推進
- ・地域へ生かせる学びの展開
- ・読書活動の推進
- ・文化政策の推進
- ・スポーツ活動の推進

主な成果指標と目標値



	〈現状値〉	〈目標値〉
・がん検診の受診率	肺がん:33.2% 胃がん:21.8% 大腸がん:32.9%	肺がん:35.0% ↑ 胃がん:25.0% ↑ 大腸がん:35.0% ↑
・在宅医療を実施する市内医療機関数	9機関	15機関 ↑
・文化会館自主文化事業にかかる入場者数	16,746人	17,600人 ↑
・市や団体等が主催する スポーツ教室・大会の参加者数	19,900人	21,000人 ↑





3.交通拠点性を生かした都市活力の向上

東西交通の要衝としての充実した交通基盤を生かし、広域的な連携・交流と、活発な産業が展開される『活力のあるまち』を目指します。

基本施策

- 1 企業活動の促進・働く場の充実
- 2 地域に根ざした商工業の活性化
- 3 農林業の振興
- 4 まちづくり観光の推進
- 5 広域的な交通拠点性の強化

主な基本施策が目指す姿

- 多様な企業が、市内に立地し、事業活動を活発に行うことで、雇用が創出されています。
- 農林業の担い手が、効率的かつ安定した経営を営んでいます。
- 来訪者が、地域の魅力に共感し、活気にあふれた交流が行われています。

主な施策の方向

- 持続可能な産業構造の構築
- にぎわいのある商業地域の形成
- 農業経営体の育成・確保
- 持続可能なまちづくり観光の推進
- リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進

主な成果指標と目標値



	〈現状値〉	〈目標値〉
・企業立地・事業拡張件数	—	10件
・6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者数	10人	15人



4.子育てと子どもの成長を支える環境の充実

亀山市ならではの充実した子育て支援と、質の高い教育に支えられながら、市全体が子どもたちの成長を見守る中で、『豊かな子育てができるまち』を目指します。

基本施策

- 1 子どもたちの豊かな学びと成長
- 2 安心して産み育てられる環境づくりの推進

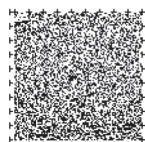
主な基本施策が目指す姿

- 子どもたちが、将来の自立につながる生きる力を身に付けています。
- 子育て世帯が、周りに支えられながら、安心して子どもを育てています。

主な施策の方向

- 地域とともにある学校づくり
- 学びの環境の充実
- 健やかに産み育てられるための支援の充実
- 仕事と子育てが両立できる環境づくり

主な成果指標と目標値



	〈現状値〉	〈目標値〉
・コミュニティ・スクール実施校数	3校	8校
・出生数	455人	465人





5.市民力・地域力の活性化

人と人がつながり、絆のある地域が自立しながら、多様な交流にあふれる『つながりと交流のあるまち』を目指します。

基本施策

- 1 自立した地域まちづくり活動の促進
- 2 市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進
- 3 共生社会の推進



主な基本施策が目指す姿

- ・市民が、地域まちづくり協議会の活動を通して、地域の課題解決に向かい、自立した地域づくりに取り組んでいます。
- ・多様な主体が、参画・協働してまちづくりに取り組み、交流により活発な活動を行っています。
- ・市民一人ひとりが、互いに人権を尊重し合い、多様性を認め合いながら、ともに暮らしています。

主な施策の方向

- ・地域まちづくり活動の活性化
- ・移住交流の促進
- ・市民参画・協働の推進
- ・人権を尊重し合えるまちづくりの推進

主な成果指標と目標値



	〈現状値〉	〈目標値〉
・地域活動拠点施設の利用者数	142,213人	150,000人
・ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う事業所数（累計）	—	6社

（行政経営編）



行政経営

基本施策

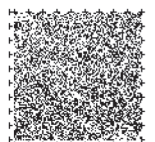
- 1 職員の能力を生かせる組織力の強化
- 2 財産・情報の適正な管理・活用
- 3 持続性を保つ健全な財政運営

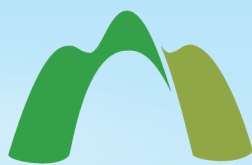
主な基本施策が目指す姿

- ・職員が、個々の能力を生かせる組織体制のもと、市民からの信頼を得られています。
- ・市の財産と情報が、適切に管理されています。
- ・市の財政状況が、健全な運営により持続性を保ち続けています。

主な施策の方向

- ・時代を拓く職員の能力の向上
- ・多様な手法による安定した財源の確保
- ・行政情報の適切な管理





亀山市

第2次亀山市総合計画【概要版】

平成29年3月

発行：三重県亀山市

編集：亀山市企画総務部企画政策室

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

TEL：0595-84-5123 FAX：0595-82-9685

E-mail：kikaku@city.kameyama.mie.jp

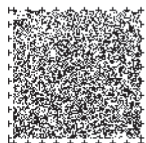
URL：http://www.city.kameyama.mie.jp

詳細（本冊）をご覧になりたい方は、インターネットにて

「第2次亀山市総合計画」でご検索ください。

第2次亀山市総合計画

検索



リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙パルプ配合率100%白色度70%
再生紙を使用しています